

くの住民に活用されていま
した。余暇休日を楽しむ場
所として、また、遊休農地
の活用策として大いに効果
があるようです。

また、農地保全や後継者
育成を目的とした農業サポ
ーター養成制度については、
本町の農学校と類似してお
り、農学校の将来の効果・
課題を検証するためのモデ
ルとしても注目できるもの
でした。

さらに、最近活況を示す
大阪湾ベイエリアでの産業
活性化策・企業誘致策につ
いても、時間を割いてご説



野洲市の消費生活相談窓口

明いただきました。

野洲市では、消費生活相
談をテーマに、ネットワー
ク（部署間連携など）を活
用した多重債務相談につい
てご説明を受けました。

①相談の促進 ②カウンセ
リングによる生活再建支援
の実施 ③訪問機会を作るこ
とによる早期の発見と対策
を使命とした「野洲市多重
債務者包括支援プロジェクト」により、借金問題を抱
える住民を、解決までサポ
ートしているそうです。と
りわけ、各部署をはじめ、
司法書士など専門機関との
ネットワーク体制を構築し、
まさに行政の総合力を駆使
して取り組んでいること、
また、借金問題は「絶対に
解決できる」と宣言して、
包括的に最後まで対応して
いることなどが大変印象的
でした。

両市とも熱心で丁寧なご
対応により、大変意義のあ
る研修となりました。

（経済建設委員長 水川 淳）

民生常任委員会

民生委員会は7月14、15
日に介護予防や高齢者福祉
の先進地である岐阜県恵那
市と長野県黍阜村で県外研
修を行いました。



回想法センターで説明を聞く

恵那市では、回想法によ

る介護予防を研修目的とし
て、明智回想法センターで
説明を受けました。恵那市
は人口5万5千人で、高齢
化率が22%。高齢化率が高
いことから、介護予防、特
に認知症の予防に力を入れ
ています。要介護高齢者の
うち、認知症は約55%。認
知症予防として回想法を実

施することで、認知症の進
行を抑制する効果がでてい
るそうです。

平成17年5月に、明智回
想法センターができたのを
機に、介護予防としての回
想法に市をあげて取り組み
始めました。明智回想法セ
ンターには、昔懐かしい生
活用品やおもちゃが多数展
示されています。実際に訪
れて昔の懐かしいものに触
れることで記憶が引き出さ
れ、会話が弾むことを実感
しました。

東郷町でもいこまい館に
ある郷土資料館を改装し、
回想法ができる拠点がおー
プンします。楽しく認知症
予防ができるよう工夫して
いければと思います。



回想法の展示を視察

2日目に訪れた黍阜村は、
高齢化率が38%と、高齢化
が進む将来の日本を先取り
した村。要介護者が増え、
家族だけでは支えきれなく
なったことから、介護を
「家族の責任」とせず、「行
政の責任」と位置付け、在
宅介護・在宅医療を推進し
ています。

お金がなくても、ヘルパ
ーや訪問看護師が必要なだ
け利用できるよう、介護保
険の利用料を減免すること
で、黍阜村ではひとり暮ら
しても、最後まで家で暮ら
せるとのこと。手厚い在宅
介護と在宅医療を行政が保
障することで、住み慣れた
自宅で看取られる在宅死が
増え、結果的に老人医療費
が全国平均の64%まで下が
ったそうです。

「村のために尽くした高齢
者に、幸せな最後を提供す
るのは行政の責任」という
理念が行政職員に共有され
ていることに、圧倒された
研修でした。

（民生委員長 山下律子）